

平成 21 年度 第 1 回 荒川水系 渇水調整協議会 (春季定例会) の開催結果について

記者発表資料

荒川水系渇水調整協議会(春季定例会)開催される 今後の対策等について確認

1. 開催状況

日時：平成 21 年 4 月 16 日 (木) 11:10～12:00
 場所：さいたま新都心合同庁舎 2 号館 14 階 災害対策本部室
 協議会構成：国土交通省関東地方整備局、東京都、埼玉県、独立行政法人水資源機構
 協議会の目的：荒川水系の渇水時における円滑な水需給の調整を図る。
2. 現状と今後の見通し (詳細は、別添概要書参照)
 - ・ ダムの貯水状況 平年を上回る貯水量
 (荒川 3 ダム：6,627 万 m³ 平年比 102%)

ダム名	貯水量 (万 m ³)	平年比 (%)
二瀬ダム	1,728	124% (H12～H20 平均)
荒川貯水池	1,018	105% (")
浦山ダム	3,881	93% (")

 - ・ 今後の見通し 荒川 3 ダムの貯水量は平年を上回っていますが、これからは水需要の多い時期になることから、降雨状況によっては、ダム貯水量が不足することも想定されます。
3. 今後の対策 (詳細は、別添概要書参照)
 - ・ ダム等水資源開発施設については、きめ細かな水運用を行っていく。
 - ・ 必要に応じて、節水協力の要請と取水制限等の機動的な対応を行っていく。

平成 21 年 4 月 16 日 (木) 荒川水系渇水調整協議会 (事務局：関東地方整備局)

発表記者クラブ	
埼玉県政記者クラブ	
竹芝記者クラブ	
横浜海事記者クラブ	
神奈川建設記者会	
東京都庁記者クラブ	

問い合わせ先	国土交通省 関東地方整備局 河川部 (内線) 水政調整官 小黒 3515 水政課長 渡邊 3551 河川環境課建設専門官 吉川 3652	住所 〒330-9724 さいたま市中央区新都心 2 番地 1 さいたま新都心合同庁舎 2 号館 電話 (代表) 048-601-3151 (水政課夜間直通) 048-600-1334 (河川環境課夜間直通) 048-600-1336
	国土交通省 荒川上流河川事務所 (内線) 副所長 須田 205 管理課長 野路 331	住所 〒350-1124 埼玉県川越市新宿町 3-12 電話 (代表) 049-246-6371

平成21年度第1回荒川水系渇水調整協議会（春季定例会）の開催結果について（概要）

1. 現況と今後の見通し

平成21年1月からの降水量と荒川3ダムの貯水量状況は、表のとおりで、降水量、貯水量とも平年を上回っています。

	累加降水量	平年比	備 考
降水量 (1月から3月まで)	184mm	130%	平年を上回る (S40~H20平均)
荒川3ダムの貯水量 (4月14日9時現在)	6,627万㎡ (貯水率77%)	102%	平年を上回る (H12~H20平均)

荒川3ダム貯水量の内訳

ダム名	貯水量(万㎡)	貯水率(%)	平年比(%)
二瀬ダム	1,728	86	124%(H12~H20平均)
荒川貯水池	1,018	100	105%(")
浦山ダム	3,881	69	93%(")

荒川3ダムの貯水量は平年を上回っていますが、これからは水需要の多い時期になることから、降雨状況によっては、ダム貯水量が不足することも想定されます。

2. 今後の対策

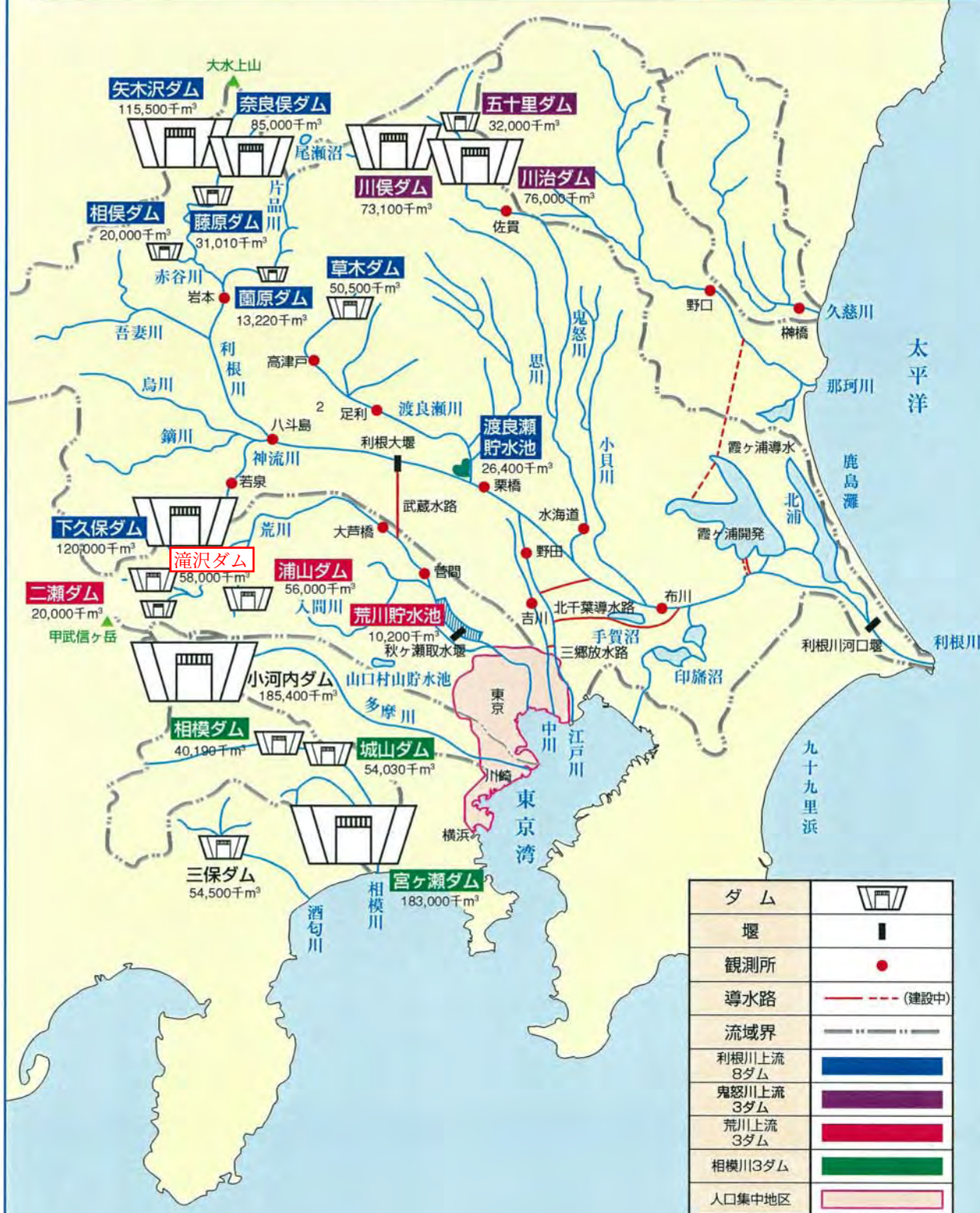
- ① 荒川ダム群及び下流部の水資源開発施設においては、今後の降雨状況、農業用水や都市用水の水利用を踏まえて、広域的かつ効果的に活用し、きめ細かい運用を行っていきます。
このため、上流ダム群の貯水量の状況や降雨状況の情報提供を引き続き、積極的に行っていきます。
- ② 荒川水系渇水調整協議会としては、現在のダム等の水供給能力が、首都圏の水需要の大きさに対して十分とはいえない状況にかんがみ、さらに幅広い広報活動を通じて節水の協力を要請していきます。また、取水制限等の調整が必要になった場合には、機動的に行っていきます。

※ ホームページでも情報をお届けしています。どうぞご利用下さい。
<http://www.ktr.mlit.go.jp>（水資源最新情報）

荒川水系渇水調整協議会

- 会 長 国土交通省関東地方整備局河川部長
- 副会長 国土交通省関東地方整備局河川部広域水管理官
- 〃 東京都都市整備局都市づくり政策部長
- 〃 埼玉県企画財政部地域政策局長
- 委 員 国土交通省関東地方整備局河川部水政課長
- 〃 〃 〃 河川計画課長
- 〃 〃 〃 河川環境課長
- 〃 〃 〃 河川管理課長
- 〃 〃 荒川上流河川事務所長
- 〃 〃 荒川下流河川事務所長
- 〃 〃 二瀬ダム管理所長
- 〃 東京都都市整備局都市づくり政策部副参事
(水資源・建設副産物担当)
- 〃 〃 建設局河川部計画課長
- 〃 〃 水道局総務部施設計画課長
- 〃 埼玉県企画財政部土地水政策課長
- 〃 〃 県土整備部水辺再生課長
- 〃 独立行政法人水資源機構管理事業部管理企画課長
- 〃 〃 利根導水総合事業所長

関東地方の主要な河川と水資源開発施設



荒川ダム群等の現況と今後の対策について



二瀬ダム(平成21年4月15日撮影)

平成21年4月16日

関東地方整備局

1. 荒川ダム群等の現況

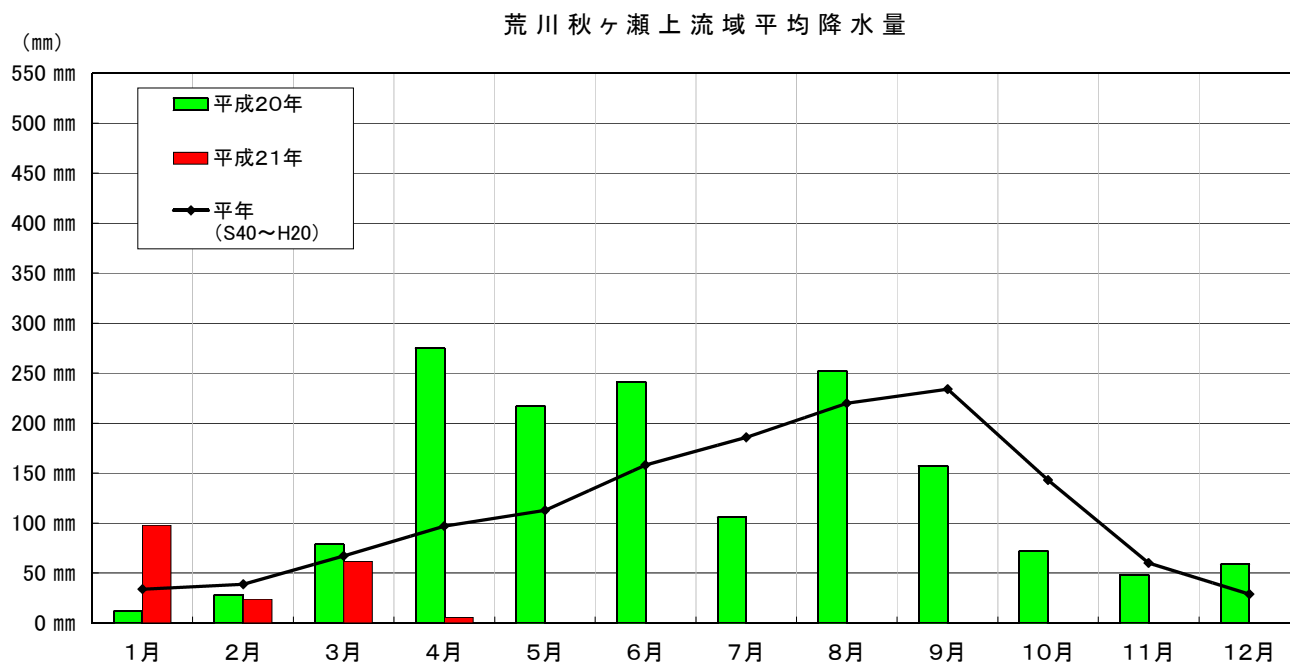
(1) 降水量

平成20年の荒川秋ヶ瀬上流域の年間降水量は1,546mmとなり、昭和40年以降44年間で11番目に多い記録となっています。

平成21年に入ると、1月の月降水量は98mmと平年を大きく上回り、昭和40年以降44年間で4番目に多い記録となりました。2月は平年を下回り、3月は平年並で、それぞれ24mm、59mmとなりました。1月から3月の累加降水量は184mm（平年1月～3月までの累加140mm）と平年の約130%となっています。

4月の月降水量は、13日までに6mmとなっています。（図－1、表－1参照）

図－1



表－1 荒川秋ヶ瀬上流域平均降水量

	単位 (mm)													
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合 計	摘 要
昭和62年	16	29	66	8	66	88	146	103	280	91	46	36	975	利根川・荒川夏渇水
平成2年	22	67	83	138	48	55	77	228	473	134	301	31	1,657	利根川・荒川夏渇水
平成4年	26	15	118	136	117	250	87	177	63	285	52	29	1,355	荒川夏渇水
平成5年	82	34	37	44	76	186	275	276	204	112	113	25	1,464	荒川夏渇水
平成6年	42	44	64	25	111	103	152	142	344	119	21	24	1,191	利根川・荒川夏渇水
平成7年	24	25	111	44	129	239	177	109	180	73	24	0	1,135	荒川夏渇水
平成8年	1	22	55	62	80	47	204	32	314	74	57	17	965	利根川・荒川冬夏渇水
平成9年	21	13	57	70	187	168	148	72	204	7	87	21	1,055	利根川・荒川冬渇水
平成13年	98	17	98	30	179	120	69	279	444	247	67	9	1,657	利根川夏渇水
平成20年	12	28	79	275	217	241	106	252	157	72	48	59	1,546	
平年 (S40～H20)	34	39	67	97	113	158	186	220	234	143	60	29	1,380	
平成21年	98	24	62	6									190	
平年比 (%)	288	62	93	6										

平成21年4月13日まで

※. 荒川取水制限実施月（一時緩和含む）

※. 秋ヶ瀬上流域面積 2,021km²

(2) 荒川3ダムの貯水状況

平成20年の荒川3ダムは、4月と5月に平年以上の降雨があり、5月11日で貯水量7,884万 m^3 と過去最高の貯水量となりました。しかし、9月以降は台風が上陸しない等の影響から少雨傾向となり、貯水量の回復が鈍い状況となっていました。このため、荒川浄化施設を運用して取水の安定化を図っていました。

平成21年に入ってから、平年を下回る貯水量で推移していましたが、1月の降水量が平年を大きく上回ったことから徐々に貯水量が回復し、3月上旬には平年を上回りました。平成21年4月14日9時現在の貯水量は、6,627万 m^3 （常時満水容量8,620万 m^3 に対して77%、平年の貯水量6,516万 m^3 に対して102%）と平年を上回っています。

（表－2、図－2参照）

表－2 荒川3ダム貯水量

ダ ム 名	有 効 容 量 (万 m^3)	貯 水 量 (万 m^3)	平成21年	4月14日9時現在	
			貯 水 率 (%)	前日補給量 (万 m^3 /日)	平 年 比 (%)
二瀬ダム	2,000	1,728	86	0	124
荒川貯水池	1,020	1,018	100	0	105
浦山ダム	5,600	3,881	69	0	93
3ダム合計	8,620	6,627	77	0	102

1. 有効容量は、常時満水容量。
2. 貯水率は、常時満水容量に対する貯水量の割合。
3. 前日補給量とは、前日の貯水量と本日の貯水量の差。

（プラスの場合はダムの集水区域からダムへ流入してくる水より、ダムから放流する量が多い）

図－2

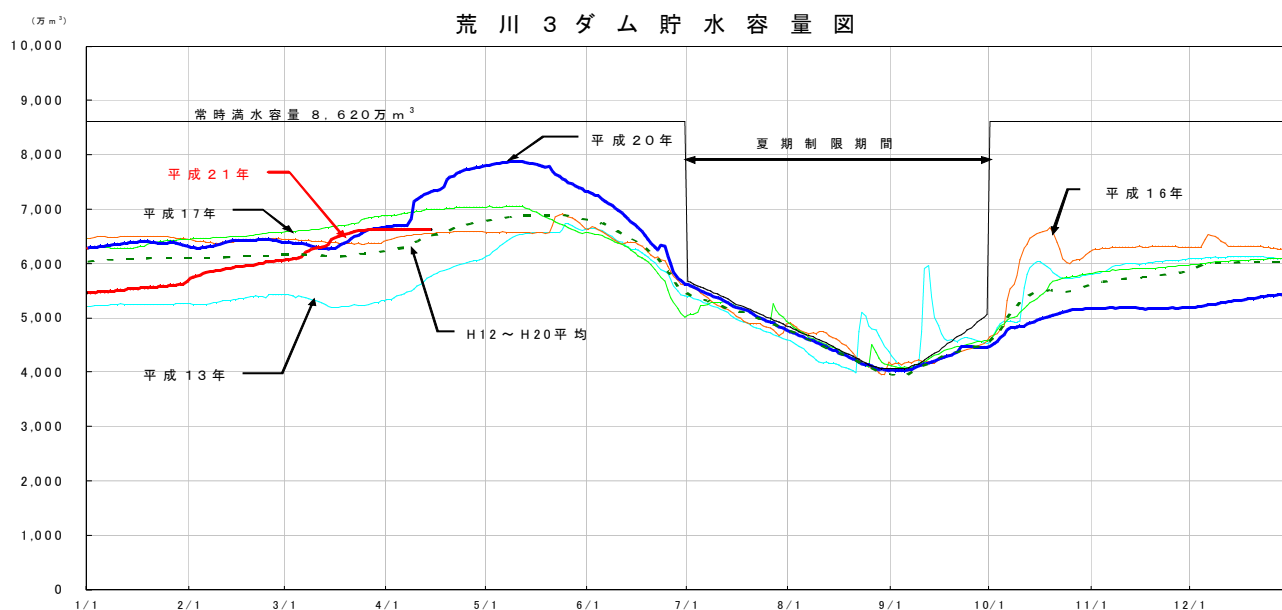


図-3

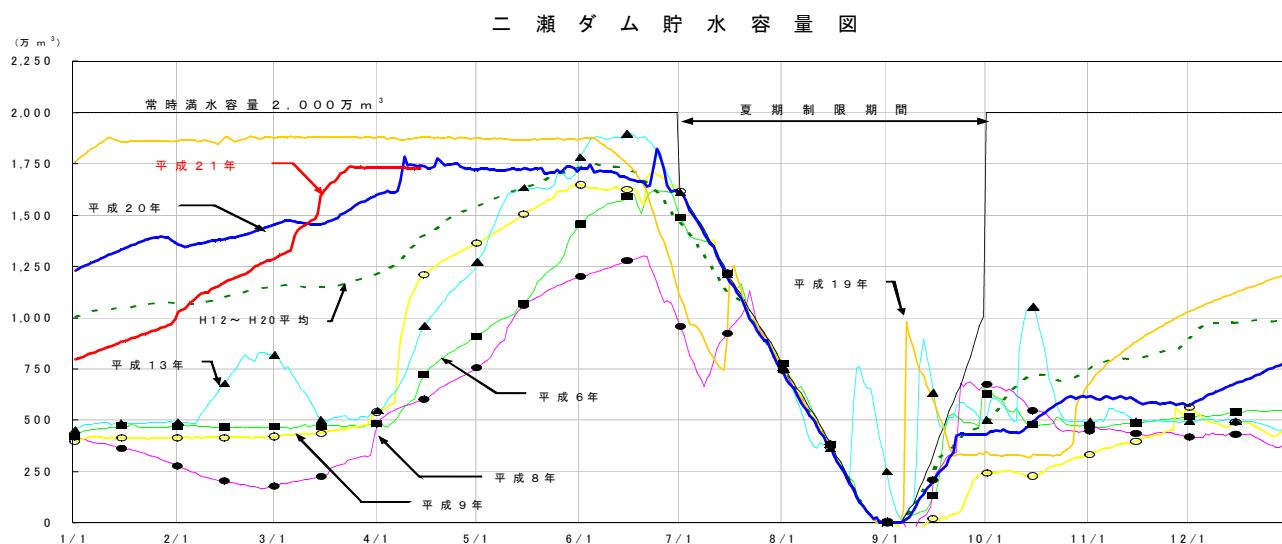


図-4

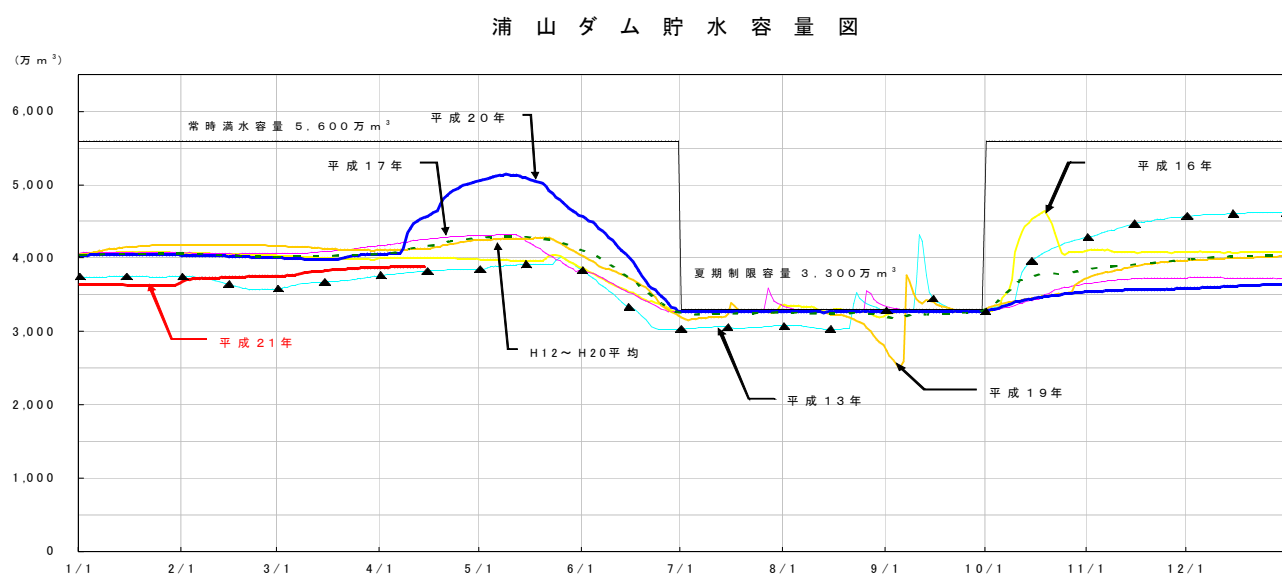
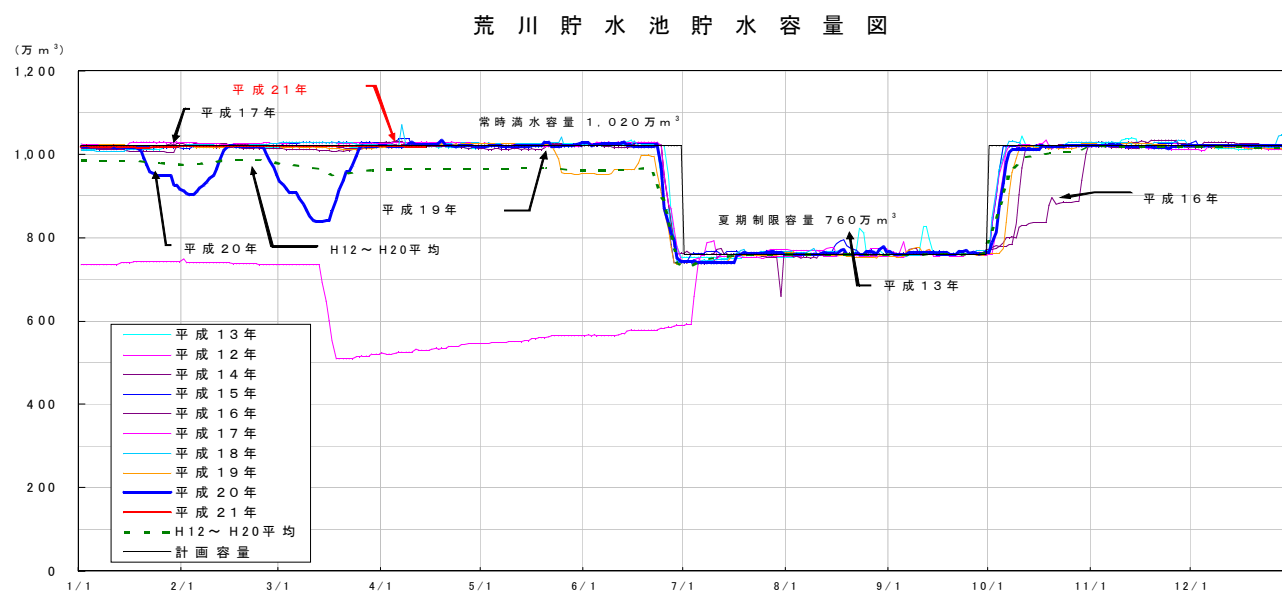


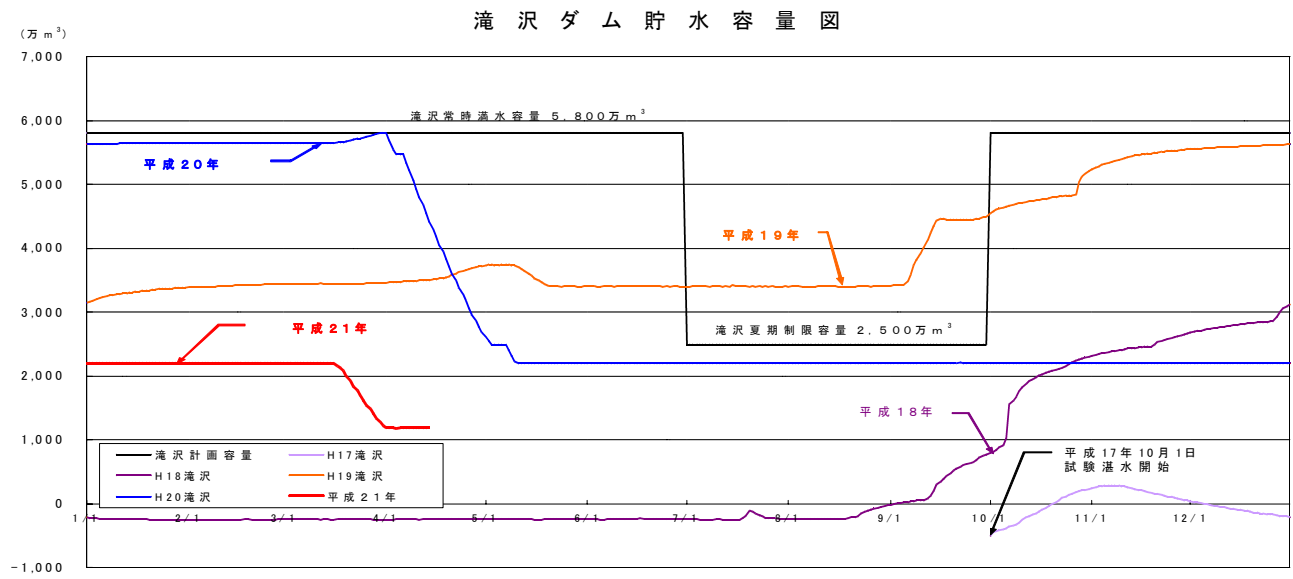
図-5



(3) 滝沢ダム の 現 状

平成20年4月に貯水池斜面において変状が確認されたため、貯水量を一定に保ちながら対策工事を実施してきており、7月末に水位低下試験が完了する見込みです。

図－6



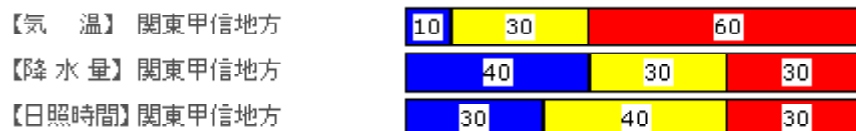
2. 今後の見通し及び対策

(1) 見通し

- ①. 平成21年4月10日発表の気象庁の1か月予報によると、4月11日から5月10日の関東甲信地方の降水量については、「少ない」となっており、3月25日発表の気象庁の3か月予報によると、降水量は、5月は「平年並」、6月は「平年並」となっています。

1か月予報（平成21年4月10日発表）

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>

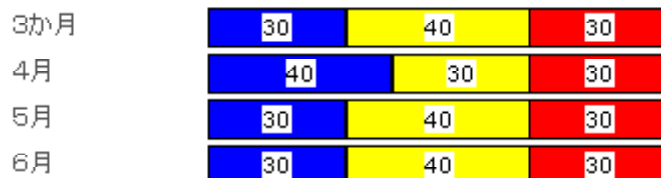


凡例: ■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

3か月予報（平成21年3月25日発表）

【降水量】

〔関東甲信地方〕



凡例: ■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

- ②. 荒川3ダムの貯水量は平年を上回っていますが、これからは水需要の多い時期となることから、今後の降雨状況によっては、ダムの貯水量が不足すること考えられます。

(2) 対策

①. [荒川水系におけるダム群の貯水量の確保]

荒川ダム群及び下流部の水資源開発施設においては、今後の降雨状況、農業用水や都市用水の水利用を踏まえて、広域的かつ効果的に活用し、きめ細かい運用を行っていきます。

このため、上流ダム群の貯水量の状況や降雨状況の情報提供を引き続き、積極的に行っていきます。

②. [荒川水系渇水調整協議会の取り組み]

荒川水系渇水調整協議会としては、現在のダム等の水供給能力が、首都圏の水需要の大きさに対して十分とはいえない状況にかんがみ、さらに幅広い広報活動を通じて節水の協力を要請していきます。また、取水制限等の調整が必要になった場合には、機動的に行っていきます。

3. 非洪水期における工事制限水位等について

工事主体	ダム名	工事名	工事概要等	工事期間											
				平成21年								平成22年			
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
二瀬ダム	二瀬ダム管理所	砂れぎ搬出工事	貯水池内の堆砂を二瀬ダム直下へ運搬する。												
		制限貯水位 EL518.0m 制限期間 平成21年9月22日から平成21年11月30日													
滝沢ダム	荒川ダム総合管理所	試験湛水 斜面対策工事	試験湛水に伴う水位維持及び降下を実施する。 斜面対策工事を実施する。												
		水位維持 EL520.0m(4/1～5月中旬) EL515.0m(5月中旬～6月下旬) 試験湛水完了予定日 平成21年7月末 工事制限水位 E.L.537.0m(H22以降も対策工完了まで継続予定)													